

---

---

# アーユルヴェーダ研究

---

---

第4号

1974・DECEMBER

アーユルヴェーダ研究準備会



## 目 次

|                                       |         |         |
|---------------------------------------|---------|---------|
| 1. 天台止観に基づく現代医学の問題点の考察 .....          | 奈 倉 道 隆 | 1       |
| 2. 摩訶止観視病患境の医学的考察 .....               | 奈 倉 道 隆 | 21      |
| 3. スシュルタにみえる鉗・鏝とダンタシャンクの解釈について.....   | 杉 本 茂 春 | 28      |
| 4. 名医ジーヴァカーその生い立ちと人間医学 .....          | 善 波 周   | 36      |
| 5. 古典医学「難経」の生命観 .....                 | 梶 本 正 博 | 40      |
| 6. 古代印度医学とのであい .....                  | 杉 田 暉 道 | 42      |
| 7. 伊東教授訳ススルタ大医典について.....              | 鈴 木 正 夫 | 46      |
| 8. スシュルタのこと .....                     | 中 野 義 照 | 48      |
| 9. 会 員 通 信 .....                      |         | 50      |
| 10. アーユルヴェーダ研究会々員ならびに賛助会員名簿（その5）..... |         | 57      |
| 11. 書 評 .....                         |         | 58      |
| 12. 編 集 後 記 .....                     |         | 60      |
| 13. アーユルヴェーダ国際セミナー参加の旅 .....          |         | 59, 表紙3 |

# 天台止観に基づく現代医学の問題点の考察

奈 倉 道 隆

## 目 次

### 序 論：研究の目的と方法

- 1) 研究の目的    2) 研究の方法

### 第1章：天台止観に記された健康問題

- 1) 釈禪波羅密次第法門    2) 修習止観坐禅法要    3) 摩訶止観

### 第2章：前方便の健康法と近代保健学

- 1) 具五縁と生活の構え    2) 呵五欲・棄五蓋と主体的克服    3) 調五事・行五法と保健学

### 第3章：十乘観法の医学思想と現代医学

- 1) 観不思議境と疾病観    2) 発真正菩提心と看護の役割    3) 善巧安心・破法  
遍と施療の個別化    4) 識近塞と全体医学    5) 道品調適・助道対治と療養生活  
の転換    6) 明次位・安忍・無法愛とリハビリテーション    7) 円頓止観と人間  
回復の医学

### 結 論：天台止観に基づく現代医学の問題点の克服

## 序 論 研究の目的と方法

### 1. 研究の目的

医学が人間の健康を対象とする学である限り「生きること」に対する価値の体系すなわち思想と無関係ではありえない。

現代医学は、近代科学の基盤の上に立つと同時に西洋近代思想を背景として成立する。この西洋近代思想は、科学的合理性の追究と、人間性尊重という二つの柱を軸として展開する